

【 検査項目について 】			
検 査 項 目			説 明
尿一般	(蛋白)	尿蛋白定性	腎臓の障害などで陽性になります。疲労などによる一時的なものの場合もあります
	(潜血)	尿潜血	尿路系の炎症や結石などで陽性になります
	(他)	比重	尿の成分の濃度を調べます。糖尿病や腎疾患のほか、脱水でも高くなります
		ウロビリノーゲン	肝疾患等で陽性になります
		ケトン体	飢餓状態や内分泌疾患で陽性になります
	(尿沈渣)	赤血球・白血球・扁平上皮・細菌	尿路系の感染症や、その他の尿路系疾患で陽性になります
血液一般・貧血	(赤血球数他)	赤血球数	酸素や二酸化炭素を運搬します。少ないと貧血の状態になります
		血色素量	赤血球中の成分で、酸素を運搬します。低いと貧血と診断します
		ヘマトクリット	血液全体に占める赤血球の割合です。低いと貧血などを疑います
	(白血球数)	白血球数	細菌感染症や炎症、腫瘍、喫煙などで高値になります
	(血小板数)	血小板数	止血の役割をする成分で、血液系の疾患を判定します
	(赤血球恒数他)	MCV・MCH・MCHC	赤血球数他から割り出した指数で、貧血の種類を判定します
		血清鉄	血液中の鉄分が足りているかどうかを調べます。低い場合は原因を調べる必要があります
血液像	(白血球分画)	Eosino (好酸球)	アレルギー性疾患・喘息・寄生虫症などで高値となります
		Stab (桿状核球)	おもに細菌に対する防御機能の働きがあります
		Seg (分葉核球)	各種感染症・炎症を起こしているときに高値となります
		Lympho (リンパ球)	免疫を担当する細胞です。ウイルス感染・白血病などで高値となります
		Mono (単球)	慢性感染症・自己免疫疾患・血液疾患などで高値となります
		Baso (好塩基球)	アレルギー性疾患・甲状腺機能低下・骨髄増殖性疾患などで高値となります
		その他1 (・その他2)	通常血中に存在しない細胞が、ウイルス感染などにより出現することがあります
炎症反応	(C反応性蛋白)	CRP定量	細菌・ウイルス感染、炎症、がんなどによる組織の傷害で増加します。
	(リウマチ因子)	R F 定量 (リウマチ因子定量)	関節リウマチや膠原病、肝疾患などで陽性になります
肝・胆のう	肝機能 (基本項目)	A S T (G O T)	心臓や筋肉、肝臓に多く存在する酵素で、これらの障害で上昇します
		A L T (G P T)	肝臓に多く存在する酵素で、肝障害の指標となります
		A L P / I F C C	肝・胆道・骨・腎臓・腸粘膜にある酵素で、障害があると上昇します(J S C C基準値 100～326未満)
		γ -G T P	肝臓や胆道に異常があると、数値が上昇します
	肝機能 (付加項目)	L D H	肝臓・心筋等全身にある酵素で他の検査と合わせて判断します(J S C C基準値 120～241未満)
		総ビリルビン	赤血球が分解されてできる色素で、肝臓や胆道に異常があると上昇します
		総蛋白	血液中の総たんぱくの量を表します
		アルブミン	血液中の蛋白質で、栄養状態・肝・腎機能の影響を受けます
	肝機能 (他)	コリンエステラーゼ	肝臓で作られる酵素のひとつで、肝機能や脂質代謝、栄養状態を反映します
		A / G 比	総蛋白中のアルブミンとグロブリンの比率です。病気があると低下します
膵	(膵機能)	血清アミラーゼ	膵臓疾患・唾液腺の疾患などで増加します
脂質	(コレステロール)	総コレステロール	血液中のコレステロール全体を合わせたものです。HDL、LDLなどを含みます
		HDL-コレステロール	善玉コレステロールといわれ、少ないと動脈硬化の危険性が高くなります
		L D L-コレステロール	悪玉コレステロールといわれ、高値になると動脈硬化を進行させます
		n o n H D L-コレステロール	すべての動脈硬化を引き起こすコレステロールを表します
	(中性脂肪)	中性脂肪	糖質がエネルギーとして脂肪に変化したものです。高いと動脈硬化を進行させます
糖代謝	(血糖)	H b A 1 c (N G S P)	過去1～2ヶ月の血糖の平均的な状態を反映し、糖尿病の状態がわかります
		血糖 (空腹時)	血液中のブドウ糖です。糖尿病、膵疾患、ホルモン異常などで高くなります
	(尿糖)	尿糖定性	尿中の糖分です。糖尿病や甲状腺機能亢進症、腎性糖尿などで陽性となります
尿酸	(尿酸)	尿酸	体内の老廃物の一種で、増加すると痛風を引きおこします
腎機能	(クレアチン・eGFR)	クレアチニン	数値が高いと、腎臓の機能の低下を意味します
	(他)	尿素窒素	腎臓の機能を確認するために調べます。腎臓の疾患などで高値になることがあります
	(電解質)	N a ・K ・C l	血液中の電解質で、一定のバランスを保ち身体機能を維持します
肝炎	(H B s 抗原)	H B s 抗原	陽性はB型肝炎ウイルスの保有を示します (R O 3.4 / 1 から表示変更)
	(H B s 抗体)	H B s 抗体	陽性はB型肝炎に対する免疫がある事を示します (R O 1.11 / 25 から表示変更)
	(H C V 抗体)	H C V 抗体	これまでにC型肝炎ウイルスに感染したかを調べます
梅毒	(血清梅毒反応)	梅毒検査	陽性であれば梅毒感染を示唆しますが、他の疾患でも陽性になることがあります
腫瘍マーカー	(腫瘍マーカー)	C E A	大腸・甲状腺・胃・膵臓・肺・乳腺などのがんで高値を示すことがあります
		P S A	前立腺がんや前立腺炎、前立腺肥大で高値を示すことがあります
		A F P	肝細胞がん・肝硬変・慢性肝炎などで高値を示すことがあります
		C A 1 9 - 9	膵臓がんやその他の消化器がんなどで高値を示すことがあります
		C A 1 2 5	主に卵巣がんや子宮体がんなどで高値を示すことがあります
		C Y F R A	肺がんなどで高値を示すことがあります

